

平成28年1月14日
東北経済産業局

東北地域のカーボン・オフセット、再エネ、省エネの各優良事例を表彰します

J-クレジット東北地域推進協議会(事務局：東北経済産業局)では、今年度から初の試みとして、優良なカーボン・オフセットの取組を表彰する「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」を実施し、この度、第一回の受賞者8者を決定しました。

また、東北経済産業局では、再生可能エネルギーの利活用に積極的に取り組み低炭素社会の実現や地域活性化に貢献した2者、省エネルギーの取組における優良事業者1者、優良工場等3者、エネルギー管理功績者6者を表彰することに決定しました。

表彰式は、平成28年2月10日(水)13:30～、仙台市太白区文化センター楽々楽ホールにおいて開催します。

1. 各表彰の概要と受賞者

(1) 東北地域カーボン・オフセットグランプリ

J-クレジット東北地域推進協議会が、東北地域におけるカーボン・オフセット※の取組としてモデル性が高い優良な取組を評価し、その実施団体を表彰するものです。本表彰により優秀な取組を広く紹介することで、カーボン・オフセットの普及や理解促進を図るとともに、地球温暖化対策から波及する複合的な社会貢献を奨励し、低炭素社会の実現に資することを目的とし、今年度創設しました。公募による応募者の中から、協議会メンバーによる選考委員会の審査を経て、受賞者8団体を決定しました。

※カーボン・オフセットとは… 日常生活や経済活動の中で排出する温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を、他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせることを言います。

最優秀賞

- 登米地域森林吸収オフセット・クレジット普及広報連絡会議(宮城県)

(取組内容)「登米市」と同市「米川生産森林組合」では、地域の森林資源の育成・整備の取組により創出したクレジットを活用した「オフセット・クレジット付きステッカー」を考案し、市民に「気負わず、手軽に」カーボン・オフセットを行ってもらえる仕組みを作り出している。



優秀賞（五十音順）

- 株式会社ケーヒン（東京都）
（取組内容）宮城県を中心とした国内11拠点で使用する社用車のエネルギー使用及び毎月発刊している環境報告書の作成に伴うCO₂を、宮城県内で創出されたクレジットでカーボン・オフセットしている。
- ホテルメトロポリタン盛岡（岩手県）
（取組内容）カーボン・オフセット宿泊プランを考案し、宿泊客の宿泊及び移動に伴うCO₂を地元企業が創出したクレジットでカーボン・オフセットしている。

奨励賞（五十音順）

- 特定非営利活動法人青森県環境パートナーシップセンター（青森県）
- 愛子観光バス株式会社（宮城県）

支援賞（五十音順）…東北地域で創出されたクレジットを活用した東北地域外の優れた取組の実施団体を表彰するもの。

- アオイネオン株式会社（静岡県）
- 株式会社マルエツ（東京都）
- 日本百貨店協会（東京都）

【参考】J-クレジット東北地域推進協議会

東北地域において「J-クレジット制度」の活用を図り、温室効果ガスの排出削減に資することを目的として設置。関係者間の情報共有、案件発掘及びマッチング支援、東北各県における制度に関する説明会等の活動支援等を行っています。学識経験者、国の地方支分部局、東北6県、仙台市、エネルギー・金融関係企業等48者で構成。

（2）東北再生可能エネルギー利活用大賞

東北地域における二酸化炭素の排出削減を加速するため、太陽、風力、バイオマス等の再生可能エネルギーを活用した発電、熱利用及び燃料製造事業の実施、発電等の設備の導入などの地域的取組事例に対して東北経済産業局長が表彰するものです。平成22年度の創設から6回目となる今回は、公募による応募者の中から、外部有識者による選考委員会の審査を経て、2団体を受賞者に決定しました。

受賞団体（五十音順）

● **会津電力株式会社（福島県）**

（テーマ）「雪国会津での小規模分散型太陽光発電事業と再生可能エネルギー普及・啓発」

（取組内容）同社は子会社のアイパワーアセット株式会社と共に、会津地域全体に小規模分散型太陽光発電所を建設・運営している。雪国である会津地域の積雪に対応した工法の実証や、市民ファンドによる建設費用の募集等、地域の資源と資本を活用している。

また、再生可能エネルギーの体験学習施設を建設する等、子供をはじめ一般団体への普及・啓発活動を行っている。



積雪に対応した工法



体験学習施設



風力発電体験

● **有限会社千田清掃（宮城県）**

（テーマ）「バイオディーゼル燃料で震災復興!!地域における再生可能エネルギー地産地消システム」

（取組内容）同社は大崎市バイオスタウン構想と連携し、廃食用油等を活用したバイオディーゼル燃料（BDF）製造事業を実施。東北地域の約600の店舗・施設から回収した廃食用油を原料として自社の燃料製造プラントでBDFを製造し、地域の施設や交通機関等に供給している。また、耕作放棄地等での「菜の花プロジェクト」等を通じてBDFによる循環型社会の形成に向けた普及啓発活動に注力している。



BDF注油取扱所



BDF混合装置



菜の花プロジェクト

(3) エネルギー管理優良事業者等及び同功績者表彰

エネルギーの使用合理化（省エネ）において、先進的な取組や他の模範となる取組を行っている事業者、工場や事業場に加え、エネルギー管理に尽力すると共に普及活動にも積極的

に取り組んでいる個人に対して、東北経済産業局長が表彰するものです。

選考の対象となる事業者等は、一般財団法人省エネルギーセンター東北支部、東北七県電力活用推進委員会、東北6県及び仙台市から推薦をいただき、外部有識者による選考委員会の審査を経て次のとおり受賞者を決定しました。

エネルギー管理優良事業者

- 東日本興業株式会社（宮城県）

（取組内容）平成25年度の省エネ管理優良工場等表彰受賞（電力ビル）後、事業者全体で省エネに注力。日々の点検において、個々に空調圧縮機等の作動時間を入念に調査するなど「現場力」を発揮し、無駄の発見に努め、改善につなげている。



シティビル仙台第1における改善事例：

電算室冷房用に年間を通じて空調圧縮機が稼働していたところ、ビルの外壁に吸気口を設け、冬期と中間期には外気（冷気）を取り込むことで、空調用圧縮機の稼働時間を短縮させ、電気使用量を削減した。

エネルギー管理優良工場等（五十音順）

- 青森県立中央病院（青森県）
- 株式会社ケーヒン 宮城第一製作所（MM）（宮城県）
- 地方独立行政法人宮城県立こども病院（宮城県）

エネルギー管理功績者（敬称略、五十音順）

- 菊池 俊男（きくち としお）
- 坂本 幸紀（さかもと こうき）
- 佐藤 明（さとう あきら）
- 佐藤 和雄（さとう かずお）
- 関 正文（せき まさふみ）
- 皆川 幸男（みながわ ゆきお）

パナソニックESエンジニアリング株式会社
酒田共同火力発電株式会社
一般財団法人東北電気保安協会横手事業所
東北電力株式会社原町火力発電所

2. 表彰式の開催日時及び場所

平成28年2月10日（水）13:30～ 仙台市太白区文化センター 楽楽楽ホール
〒982-0011 仙台市太白区長町5丁目3番2号 TEL:022-304-2211

なお、表彰式と併せて「平成27年度エネルギー使用合理化シンポジウム東北」を開催いたします。

（本件にかかるお問い合わせ先）

東北経済産業局 エネルギー対策課長 遠藤 司
担当者：藤原、佐々木、栗田

TEL：022-221-4932（直通）

FAX：022-213-0757